

ビアン中間120

特化則対応のスチレン非含有パテ

製品概要

- ◆ 特定化学物質障害予防規則対応、有機溶剤中毒予防規則非該当の環境に配慮 (ECO) したノンスチレンパテで、スチレン特有の刺激臭がありません。
- ◆ 低収縮タイプで、高張力鋼板、防錆鋼板対応、バンパー適応の自動車補修用ポリエステルパテです。
- ◆ 厚付けから、仕上げまで一品で可能な钣金補修用中間パテです。



用途

- ◆ 自動車 (高張力鋼板、防錆鋼板、アルミ合金)、冷間圧延鋼板、ステンレス鋼等の塗装下地
- ◆ 厚付けパテ後の細かな歪の補修と塗装下地

利点

特 色	利 点
環境対応 (ノンスチレン)	特定化学物質対象物のスチレン不含有
	有機溶剤中毒予防規則非該当 (防毒マスクは不要)
	スチレン特有の刺激臭が無く、快適な作業環境が得られる
厚付けができ (5mm)、キメの細かい中間パテ	一品で钣金から、仕上げまでできる钣金補修用中間パテ
ヘラ付け性、研削性に優れる	従来のパテと変わらない作業時間で使用できる
低収縮で、密着性が良い	高張力鋼板、防錆鋼板、アルミ、ステンレスに使用できる

性状及び物性

項 目	条 件	特 性 値	
		硬化剤 F-10	硬化剤 0-10
硬 化 色		茶色がかった灰色	鶯色
ヘラ付け性		○△	○△
盛り易さ	垂直面	○	○
盛り可能厚 (凹みの程度)		5 mm	5 mm
キ メ	パテ付け後	○	○
ス 穴	研削後	○	○
可 使 時 間	20℃ 硬化剤 2%	7 分	11 分
指触乾燥時間		35 分	40 分
研削可能時間		60 分	70 分

性能表

項目	条件	特性値	
		硬化剤 F-10	硬化剤 O-10
デュロメーター硬さ (タイプD)	1 時間	53	55
	3 時間	62	63
	1 日	70	71
研削性	1 時間	◎~○	◎~○
	3 時間	○~○△	○~○△
	1 日	○△	○△
研削量	1 時間	3.2 g	3.1 g
	3 時間	4.0 g	3.7 g
	1 日	3.1 g	2.9 g
フェザーエッジの 仕上がり性	20℃ SPCC	90分後 ○	100分後 ○
	20℃ ボンデ鋼板	120分後 ○	130分後 ○
	20℃ アルミA5052P	90分後 ○	100分後 ○
	20℃ SUS304-2B	90分後 ○	100分後 ○
耐錘落下性 (デュポン落球式)	0.8mm SPCC鋼板 荷重 500 g	30 cmOK	30 cmOK
硬化収縮	0.5mm SPCC鋼板 パテ厚 5 mm	ほぼゼロ	ほぼゼロ
耐水性 (40℃×7日浸漬)	SPCC	○	—
	ボンデ鋼板	○△	—
	アルミA5052P	◎	—
	SUS304-2B	○	—
耐熱密着性	SPCC	200℃×30分	200℃×30分
	ボンデ鋼板	140℃×30分	100℃×30分
	アルミA5052P	220℃×30分	220℃×30分
	SUS304-2B	200℃×30分	180℃×30分

◎を最良とし、次いで○、△、×となります。(○△は○と△の間を、○~○△は○と○△の間を示します。)

特性値は実績値であり、保証値ではありません。



ビアン120中間のソリ見本(ソリ無し)



従来の中間パテのソリ見本(ソリ大)

プロダクトインフォメーション

使用方法

下地処理

1. パテの密着力を増す為に鋼板表面をP80～P120の研磨紙で研磨し、ペーパー目を付けます。
2. 研磨カスをエアブローし、シリコンオフなどで脱脂します。(乾燥の為に加熱は避けます。)

主剤と硬化剤の混合

1. パテを均一にし、ス穴を少なくするために、定盤にパテベースを取りヘラでしごきます。
2. 主剤に対し2%～3%の硬化剤「F-10」又は「O-10」を加え、パテと硬化剤が均一になる迄混ぜ合わせます。

パテ付け

1. 鋼板の下地処理後直ちにパテ付けします。
2. 最初素地のペーパー目にパテを十分になじませるように薄くしごき塗りをし、次いで必要な厚みになるように盛っていきます。

研削

1. 約60分(20℃)で研削が可能になります。
2. 水研ぎはできるだけ避け、空研ぎで研削します。
3. 最初目の粗いペーパーから研ぎ始め、徐々に目の細かいペーパーを使用して仕上げていきます。

		10 °C	20 °C	30 °C
可使時間		11分	7分	5分
研削可能時間	常温乾燥	140分以上	60分以上	40分以上
	強制乾燥	60°C × 10分 + 放置 5分		

※ セッティングタイムを取った後(パテがゲル化してから)、強制乾燥を行ってください。

保管上、使用上の注意

1. 硬化剤は少な過ぎても、多すぎても不具合の原因になります。指定硬化剤を適正量使用してください。
2. 使用前に主剤はよく攪拌し、硬化剤は良く揉み解してからご使用ください。
3. 硬化時間は気温により多少異なります。特に、エッジ部分、5℃以下では硬化が著しく遅れますので強制乾燥(60℃以下)を行ってください。
4. 本来の用途以外には使用しないでください。
5. 主剤、硬化剤は密閉して、火気や直射日光の当たらない冷暗所(25℃以下)に保管してください。
6. 幼児の手の届かない所に保管してください。

※ 使用に際してはSDSをご参照ください。

荷姿

2. 5Kg×4缶/ケース 1. 0Kg×6缶/ケース